

令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県南会場

科目 ⑧放課後児童クラブに通う子どもの育成支援

- ◆ 放課後児童クラブには、適切な遊びや生活の場を与えることで児童の健全な育成を図る目的があり、身体的・精神的・社会的発達において、必要な水準確保の重要性と具体的な育成支援の内容を再確認することができました。安全管理チェックやおやつ選びと提供への心配り、基本的な生活習慣が身に付くような一連の流れなどのほか、発達に応じた主体的な遊びや生活にも工夫すべき点があったのかと驚きました。
- ◆ 生活や遊びを通して一人一人と関わりながら、見通しをもって行動したり、自己管理能力を身に付けられるような環境づくりや配慮をしていく中で、子どもたちが放課後児童クラブに行きたいと思えるようになることが理想的だと感じました。また、こういった意識で子どもたちと関わるという職員の共通認識や保護者との信頼関係の大切さを改めて感じるすることができました。日々の日誌での記録、情報共有を引き続き丁寧に行きたいです。
- ◆ 子どもたちが安心して過ごせる生活の場とするためにも、子どもたちとたくさん接し、発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように、基本的な生活習慣を身に付けさせながら支援をしていくことが大事だと再確認しました。また、子どもが連絡なしに放課後児童クラブを欠席した場合は、保護者へ確認をすることが必須であることも再確認しました。
- ◆ 今まで漠然と、放課後児童クラブを利用する子どもに対して、ただ一緒に遊んで、勉強して、責任をもって見守るぐらいの意識しかありませんでしたが、育成支援の具体的な内容を講義の中で学ぶことができ、大変勉強になりました。学んだことの一つ一つを確認しながら、今後の育成支援の参考にしていきたいと思いました。
- ◆ 育成支援では、子どもたちが主体的に取り組めるように支援することが特に大事だと感じました。子どものもつ個性を發揮させるためには、安心安全な場所で信頼できる人たちと過ごすことが必要となるので、まずは子どもの声をじっくり聞くことが大切だと思いました。これからは、子どもの意見を盛り込んだ行事を作っていきたいと思います。また、記録することの重要性を再認識し、なるべく細かく記録し、伝達していくべきだと思いました。